

道徳教育「校内研修パッケージ」



# 「考え、議論する道徳」の 実現に向けて

北海道教育庁学校教育局義務教育課

# 校内研修パッケージ コンテンツ

- ①新学習指導要領の趣旨を踏まえた道徳科の授業
- ②道徳教育のカリキュラム・マネジメントの充実
- ③道徳科の特質を踏まえた授業改善**
- ④道徳科の授業におけるICTの効果的な活用
- ⑤道徳科の評価の改善・充実

## Contents③

道徳科の特質を踏まえた授業改善

「考え、議論する道徳」を実現するためには、どのような視点で授業改善を行えばよいのでしょうか？



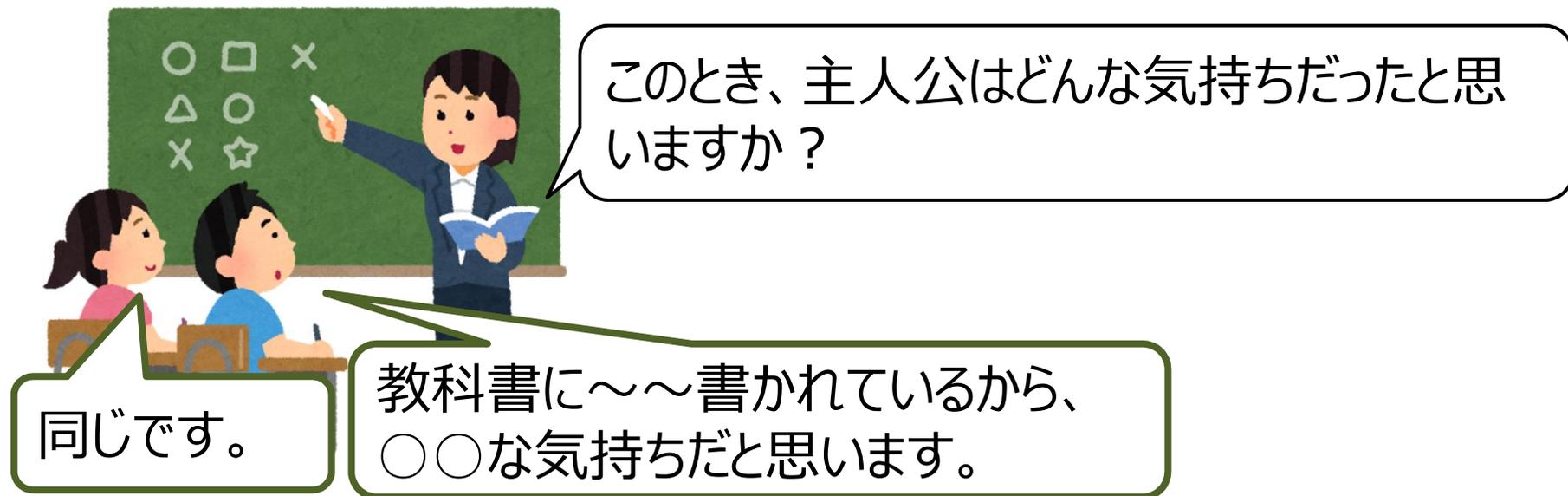
# 内 容

- 「考え、議論する道徳」への質的転換
- 道徳科の授業づくり
- 道徳科の授業で大切にしたいこと

「考え、議論する道徳」への質的転換

# 「考え、議論する道徳」への質的転換

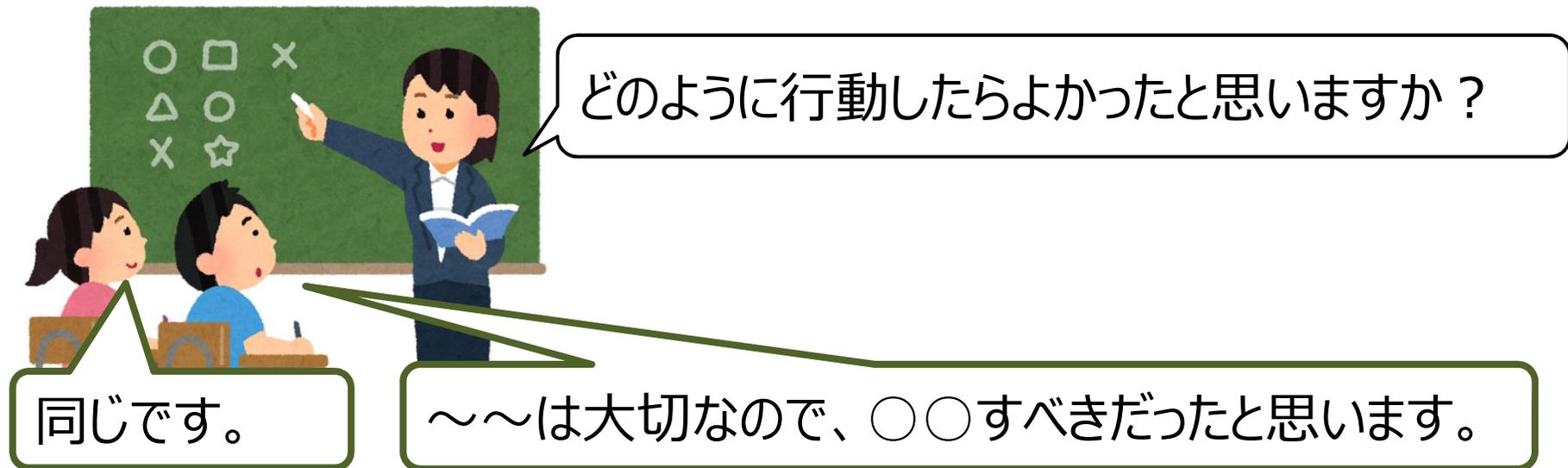
## これまでの道徳の時間の授業の課題



- 読み物教材の登場人物の心情理解のみに終始する指導  
→道徳的価値を他人事として捉え考えるような授業

# 「考え、議論する道徳」への質的転換

## これまでの道徳の時間の授業の課題



- 望ましいと思われることや決まりきったことを言わせたり、書かせたりすることのみに終始する指導  
→特定の価値観を押し付けるような授業

# 「考え、議論する道徳」への質的転換

## これからの道徳科の授業



- 読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習  
→自分との関わりで考えを深めるような授業

# 「考え、議論する道徳」への質的転換

## これからの道徳科の授業

ルールを守るのが大切なのは分かるけど、〇〇できないこともあると思います。

ルールを守ることは大切だから、〇〇すべきだと思います。

例えば△△な状況だったら、ルールを守ることができるかな。

自分だったら…



- 他者と対話したり協働したりする学習  
→物事を多面的・多角的に考えるような授業

# 「考え、議論する道徳」への質的転換

## これからの道徳科の授業

道徳的諸価値についての理解を基に、  
答えが一つではない道徳的な課題を  
子ども一人一人が**自分自身の問題と捉え、  
向き合う「考え、議論する道徳」**への質的転換

# 「考え、議論する道徳」への質的転換

## 【発問の工夫】

- 考える必然性や切実感のある発問
- 自由な思考を促す発問
- 物事を多面的・多角的に考える発問 など



- ・「自分ならどうするか」という観点から道徳的価値と向き合うとともに、自分とは異なる意見をもつ他者と議論することを通して、**道徳的価値を多面的・多角的に考える。**
- ・他者との合意形成や具体的な解決策を得ること自体が目的ではなく、多面的・多角的な思考を通じて、**道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深める。**

# 「考え、議論する道徳」への質的転換

## 多様な指導方法の工夫

読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習

教材の登場人物の判断と心情を**自分との関わり**において**多面的・多角的に考える**ことを通し、道徳的価値の理解を深める学習

問題解決的な学習

子どもたちの**考えの根拠**を問う発問や、問題場面を**自分に当てはめて考えてみる**ことを促す発問などを通じて、問題場面における道徳的価値の意味を考えさせる学習

# 「考え、議論する道徳」への質的転換

## 多様な指導方法の工夫

### 道徳的行為に関する体験的な学習

**疑似体験的な活動（役割演技など）**を通して、実際の問題場面を実感を伴って理解することで、様々な問題や課題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養う学習

これらは多様な指導方法の一例であり、それぞれが独立した指導の「型」を示しているわけではありません。道徳科における具体的な学習指導過程は限りなく存在し得るものです。



# 道徳科の授業づくり

---

# 道徳科の授業づくり

## 指導の明確な意図

### 授業者の意図

教師が、**ねらいとする道徳的価値について、どのような指導が必要**だと考えているかを明らかにします。

### 子どもの実態

ねらいとする道徳的価値について、日常の道徳教育でどのように指導し、その結果、子どもたちにどのようなよさや課題が見られるかを明らかにし、**本時で特に考えを深めさせたいこと**を明確にします。

### 教材の活用

授業者の意図、子どもの実態を基に、**発問**の仕方など教材の活用の仕方を明らかにします。

# 道徳科の授業づくり

小学校第3学年 道徳学習指導案

## 1 主題

長所を伸ばすよさ A 個性の伸長

## 2 教材

「うれしく思えた日から」文部科学省 小学校道徳 読み物資料集

## 3 主題設定の理由《指導観》

### (1) ねらいとする道徳的価値について【価値観】

個性の伸長とは、自分のよさを生かすことであり、自分らしさを発揮しながら調和のとれた自己を形成していくことである児童が自分らしい生活や生き方について考えを深めていく視点からも、大切にしなければならない内容である。ここでの特徴とは、他と比べて特に自分の目立つ点であり、長所だけではなく短所も含むものである。つまり、自分の特徴を知るとは、その両面を見出すことであつて、短所や不得意なものを努力によって望ましい方向へ改め、自分のよさを一層伸ばしていくことが必要である。また、自分のよさについて改めて考えることで、自分のよさを伸ばすための工夫や工夫で改めていくのかについてじっくりと考える指導が大切である。

3年生が自分の特徴に気付くとは、自分のよい所や悪い所などに気付くことであると考える。長所に気付くとうれしい気持ちや自分を大切に思う気持ちがわき起こる。さらに長所を伸ばすことは自分を様々な成長させることにつながる。児童にはこのような長所を伸ばす大切さやよさについて多角的に考えさせたい。そして友達との交流の中で認め合う場をつくり、教師がよい所を積極的に伝えたりして、自分のよい所に気付き、さらに伸ばしていこうとする態度を育てていきたい。

### (2) 児童の実態【児童観】

長所を伸ばす大切さやよさに気付き、自分のよさを一層伸ばしていこうとする態度を育てるために、道徳の時間以外では、以下のような指導を行っている。

#### ①各教科等での指導

##### ア 国語「自分を見つめて」

自分の長所を伸ばす大切さやよさに気付き、自分のよさを一層伸ばしていこうとする態度を育てるために、自分の心が動いた出来事や作文を書く指導を行った。日常生活のどんなところに心が動かされたのかには、その児童の考え方・感じ方のよさが表れる。児童は様々な、心が動いた出来事とその理由を文章に表現し、互いに読み合った。その中で互いの作文のどこがよかったのか具体的に認め合う指導を行った。具体的には、自分のよさを伸ばすための工夫や工夫のよさも見つけようとする姿があった。しかし、長所を伸ばす大切さやよさに気付き、よさを一層伸ばそうとする気持ちについては自分との関わりでさらに考えを深める指導をする必要がある。

##### イ 図工

自分の個性を生かし創意を凝らした作品を作ろうとする態度を育てるために、アイデアを出し、その思いの通りに作品を創る学習を行っている。これらの作品は11月の展覧会にも出品される。展覧会の鑑賞では、鑑賞カードを書かせるときに自分や友達の表現のよさを大切に感じ取る指導を行っている。このように展覧会という発表の場に向けて一生懸命に取り組んでいるが、長所を伸ばす大切さやよさについては道徳の時間にじっくりと考えさせる指導が必要である。

### ②日常の指導

#### ア 特色ある教育活動「すくすくタイム」

朝の時間に設定された、心と体の健康をはぐくむ教育活動である。自分のよい所や悪い所などに気付くことができるように、自分の様々な感情を見つめ、どのようなときにそういう気持ちになるのかを振り返らせた。自分の特徴を見つめ直し、「かっとなる気持ちを抑えたい。」等、自分の課題に気付く児童も見られた。10分間の短い時間の中での活動だったので長所を伸ばすよさについては十分に考えられたとはいえないので、じっくりと考え自分の気持ちを見つめさせる指導が必要である。

以上のような実態から、本時は、学校の教育活動全体で行う道徳教育をさらに深めることを意図して指導を行いたい。

### (3) 教材について【教材観】

#### ①概要

何をやってもばつとせず(いいところなんてひとつもない)と思っていた。体育のソフトボール投げの授業で素晴らしい記録を出し、みんなにほめられる。それを機に、野球部に入りきびしい練習にも耐えた。そうしているうち、できなかった逆上がりもできるようになり、試合でベンチにいても(自分も大事な一人)と思えるようになっていた。

#### ②資料活用の工夫

長所を伸ばす大切さやよさを多角的に考えるために「自分も大事な一人」と思えるようになった。そのために、発問の一つ目では、自分のよさに気付かないときの気持ちを考え人間理解を深めさせる。そのために、(いいところなんてひとつもない)と思う気持ちを話し合わせる。また、発問の二つ目では、よさを一層伸ばしていくことについて話し合い、価値理解・他者理解を深めさせる。そのために、投げること以外の走りこみやノックにも努力しているときの気持ちに着目して考えさせる。

#### 4 自分との関わりで、多面的・多角的に考えるための指導の工夫

ねらいとする道徳的価値に対する考え方や感じ方を広げ深めるために、自分とは違う多様な考え方にふれることが必要である。

長所を伸ばす大切さやよさについて自分との関わりで多角的に考えることができる中心発問を吟味する。長所を伸ばすときに生まれるよさについて話し合うために、『ぼくが「自分も大事な一人」と思えるようになったのはどうしてだろう。』と投げかける。児童は自我関与を基に以下のように考えるのではないかと予想される。

- ・よさや課題を見つめることができたこと(特徴への気付き)
- ・友達や家族が応援支えてくれたこと(応援してくれる人の存在)
- ・できないことができるようになったこと(成長・自信)
- ・共に頑張る仲間がいること(共に頑張る仲間の存在)

「よさに気付き、伸ばしていこう」と唱えるだけでは気持ちは動かない。長所を伸ばすときに生まれる素晴らしいものについて話し合うなかで、ねらいとする道徳的価値について考え方・感じ方を深めていく。「努力」「家族愛」「友情」「感謝」等、関連する内容項目を自分との関わりで多角的に考えながら「個性伸長」について考えさせていきたい。

他者理解・価値理解を深めるために、板書や問い返しを工夫し、ねらいに向けて話し合いを焦点化することで、児童が考えを深められるようにする。

授業者の意図

教材の活用

子どもの実態

# 道徳科の授業づくり

5 本時のねらい  
自分の特徴に気付き、よい所を伸ばしていこうとする態度を育てる。

	学習活動○主な発問と予想	○指導上の留意点 ★評価
導入	1 自分の特徴を思い浮かべよう。 ○自分のよい所、悪いところがあるか。	○ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。
展開	2 資料「うれしく思えた話」を話し合う。 ○「ぼく」が(いいところ)と書いていた時、どう思ったか。 ・自分が情けないな。 ・みんなはいいなあ、いいなあ。 ・自分が好きになれないな。 ○「ぼく」が走りこみやすくさくさするまで頑張ったか。 ・一つでも得意なことを持っているか。 ・せっかく初めて自分がやってみようと思った。 ・肩が痛いから、練習したか。 ○「ぼく」が「自分も大事にならなうな」と思ったのは、どうしてか。 ・得意なもの、好きなこと、頑張りたいこと、思えるようになったか。 ・みんなが認めてくれるようになったか。 ・できないことができるようになったか。 ・一緒に頑張る野球仲間ができたか。 3 自分の生活を振り返る。 ○得意なもの、好きなこと、頑張りたいこと、思えるようになったか。 ・みんなが認めてくれるようになったか。 ・できないことができるようになったか。 ・一緒に頑張る野球仲間ができたか。	○よい所に気付かないときの気持ちを話し合い、人間理解を深めさせる。 ○よさを一層伸ばしていこうとするときの気持ちを考えさせる。 ○長所を伸ばすときに生まれるよさについて多面的に話し合い、価値理解・他者理解を深めさせる。 ★自分の特徴に気付き、よい所を伸ばしていくことのよさや大切さについて考えを深めることができたか。
終末	4 教師の説話を聞く。	○自分をしっかりと見つめることで自己理解を深めるために、ワークシートを活用する。 ○長所を伸ばす大切さやよさについてじっくりと振り返ることができたか。 ○自分のよさを一層伸ばしていこうとする意欲をはぐくむ。

## 指導の明確な意図

### 【学習指導過程】

#### 導入 自己を見つめる動機付け

- ・本時の主題に関わる問題意識をもたせる
- ・教材の内容に興味や関心をもたせる
- など

#### 展開 自己を見つめる

- ・物事を多面的・多角的に考える
- ・自分との関わりで道徳的価値を理解する
- など

#### 終末 今後の発展につなぐ

- ・考えたことや新たに分かったことを確かめる
- ・更に深く心にとどめる
- ・これからへの思いや課題について考える
- など

道徳科の授業で大切にしたいこと

---

# 道徳科の授業で大切にしたいこと

## 【道徳科の評価】

一面的な見方から**多面的・多角的な見方**へと発展させているかどうか

- ・道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠やそのときの心情を様々な視点から捉え考えようとしている
- ・自分と違う立場や感じ方、考え方を理解しようとしている
- ・複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を多面的・多角的に考えようとしている



# 道徳科の授業で大切にしたいこと

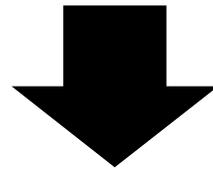
## 【道徳科の評価】

道徳的価値の理解を**自分自身との関わり**の中で深めているかどうか

- ・読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしている
- ・現在の自分自身を振り返り、自らの行動や考えを見直していることがうかがえる部分に着目している
- ・道徳的な問題に対して自己の取り得る行動と他者と議論する中で、道徳的価値の理解をさらに深めている
- ・道徳的価値の実現することの難しさを自分のこととして捉え、考えようとしている

# 道徳科の授業で大切にしたいこと

子どもたちの**評価ができる**  
**道徳科の授業**を目指すことが大切



**指導の明確な意図**をもって、**学習指導過程**  
や**指導方法の計画**を立て、**期待する学習の姿**  
を**具体的に想定**することが**重要**

# 道徳科の授業で大切にしたいこと

- 道徳科のねらいを踏まえ、道徳科の授業で子どもたちに**何について考えさせ、何に気付かせたいのか**、指導の明確な意図をもつこと。
- 学習指導過程や指導方法、教材・教具の工夫は**目的**ではなく、**手段**であることを再確認すること。